

1月12日(木)に、最後の実力テストが予定されています。入試を想定した校内での最後の試験になります。今までの学習の成果を十分発揮できるよう臨みましょう。

また、3学期は、卒業文集の作成など卒業式に向けての準備をしながら、入試の出願のための書類を作成しなければなりません。余裕をもって準備し、ミスなく出願しましょう。

願書の準備・出願・入試

- 【私立】
- ①用紙は各自で取り寄せる。
 - ②願書の下書きを担当の先生にチェックしてもらう。
 - ③1月14日(土)までに完成した状態で願書を担任の先生に提出(専願者は13日までに専願届も提出です。)
 - ④1月23日(月)6限 出願の事前指導(持ち物、交通手段、交通費等の確認)
 - ⑤1月27日(金)午後一斉出願
各自で高校に持っていきます。同じ高校を受ける人は基本的に一緒に出願に行きます。
出願が終われば、学校にもどり、担任の先生に受験番号を報告します。

※1月27日より早く出願しなければならない学校(他府県)は郵送で行います。

※インターネット出願の学校(近大附属、大阪学芸など)は各自でパソコン、スマホを通じて事前に登録等をする必要があります。また、1月12日(木)6限にインターネット出願者に対して指導する機会を設けます。

- ⑥2月6日(月)6限 私立高校受験事前指導(入試心得のプリント配布)
- ⑦2月9日(木)6限 私立高校入試前日最終注意
- ⑧2月10日(金)私立高校入試本番(第1日)
- ⑨2月11日(土・祝)一部の高校で入試(第2日)
- ⑩2月11日以降 合格発表(郵送で合否通知が自宅に届きます。)

- 【公立】
- ①用紙は八阪中学で用意し、配布します。
 - ②1月17日頃に配布する「公立高校特別入学者選抜受験届け」を記入し、志望校を確定する。
 - ③公立特別入学者選抜願書の下書き用紙、納付用紙を配布
納付金額は全日制で2200円です。
(定時制で950円、通信制で800円)
大阪府下の銀行等で納付できますが、コンビニ、ATM、郵便局では納付できません。納付用紙に書いてあるのでよく読んでください。
 - ④下書きをし、担任の先生にチェックしてもらう。
 - ⑤清書用の願書をもらい、2月2日(木)までに願書と自己申告書と納付証明書を担任の先生に提出
 - ⑥2月13日(月)放課後 出願の事前指導
 - ⑦2月14日(火)午後一斉出願
※受験する生徒が少人数のため、受験しない生徒は5、6限通常授業があります。出願する生徒は公欠扱いで、各学校に願書を提出に行きます。出願が終われば、学校にもどり、担任の先生に受験番号を報告します。
 - ⑧2月17日(金)放課後 公立高校特別入学者選抜受験事前指導(入試心得のプリント配布)
 - ⑨2月20日(月)特別選抜入試本番(第1日:教科の筆記試験)
 - ⑩2月21日(火)特別選抜入試本番(第2日:実技、面接など)
 - ⑪2月28日(火)14時 合格発表(各学校に自分で確認に行く)

一般選抜もほぼ同じ流れです。出願前に進路懇談を予定しています。進路懇談は

2月17日(金)、20日(月)、21日(火)、22日(水)
2月28日(火)、3月1日(水)を予定しています。

公立願書の注意

私立と違い、公立の願書の書き方には決まりがたくさんあります。

- ①住所の欄は住民票記載通りでないとう願できません。
例えば、日頃「福島区鷺洲1-2-3 鷺洲マンション101号」と書いていても住民票で「福島区鷺洲1丁目2番3-101号」となっていれば、後者のように書かないといけません。
- ②納付用紙は大阪府立と大阪市立によって異なります。